

【資料3-1】

学校関係者評価書

学校名 佐賀県立杵島商業高等学校
佐賀県立白石高等学校商業科キャンパス

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日 令和2年3月18日(水)

(2) 評価者氏名 (学校評議員)

松永 晃明、楠田 真由美、山本 芳嗣、野田 あゆみ

(3) 資料(評価の参考とした資料)

- ① 令和元年度学校評価アンケート
- ② 学校評議員会資料(学校の取組等)
- ③ 令和元年度学校評価結果

2 評価

(1) 学校運営について

① 目標の妥当性及び達成状況

- ・ 適切な目標設定がなされており、概ね達成できており、学校の取組を評価できる。

② 学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・ 学級減に伴い職員が減る中、多様な特性を持った生徒に対応するため外部機関等とも連携しながらきめ細かな対応をしており、生徒指導案件も減っている。組織として取り組んでいる様子が伺え、大いに評価できる。自己評価結果はやや厳しいと思える。

③ 改善方策の適切さ

- ・ 適切な改善策がたてられている。

(2) 教育活動について

① 目標の妥当性及び達成状況

- ・ 適切な目標設定がなされており、概ね達成できている。学校の取組を評価できる。

② 学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・ 「地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト」のモデル校として、地域

と連携しながら、地元で活躍したいと思う生徒の育成を行っている。広報活動をもっと積極的に行い、地域の方々にこの取組を広く知ってもらおうとより効果的だと思う。自己評価は妥当である。

- ・ 「心の教育」や「いじめ問題への対応」などについては、校内で組織として対応し、専門機関等とも連携しながら、問題解決にあたっている。問題が大きくなる前に早め早めの対応により重大事案になることを防いでいる。「A」の評価は妥当である。

③改善方策の適切さ

- ・ 適切な改善策がたてられている。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・ 学校評価が来年度から変更になるということである。新高校の活性化のために学校評議員会も学校のためになるような意見を述べていきたい。